

経営比較分析表（平成28年度決算）

秋田県 北秋田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.64	100.00	2,915

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,505	1,152.76	29.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
545	0.36	1,513.89

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



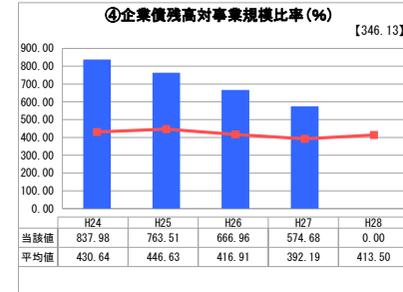
「単年度の収支」



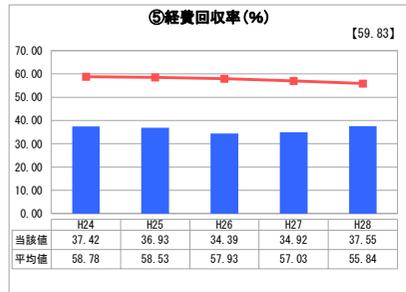
「累積欠損」



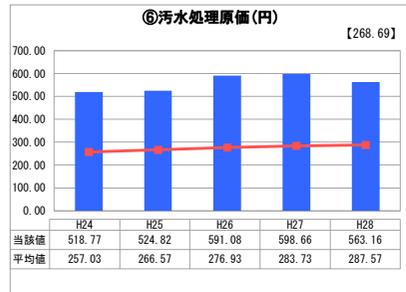
「支払能力」



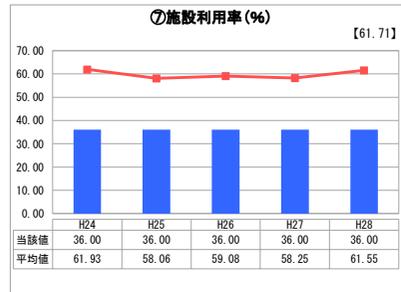
「債務残高」



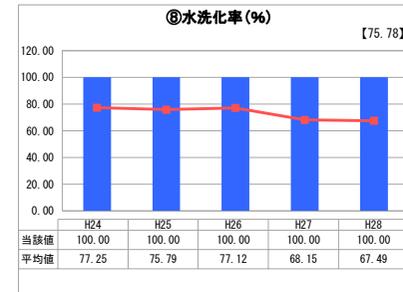
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

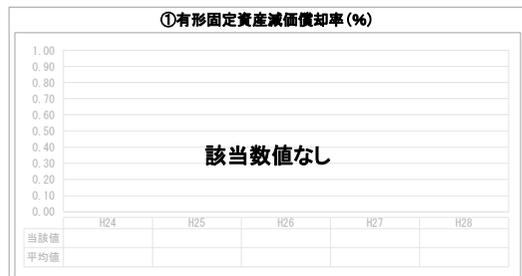


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

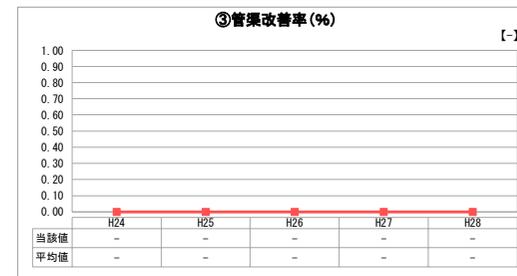
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

本来100以上になっている必要があるが、浄化槽維持管理費に対して料金収入が低いため現状数値になっている。

起債償還が進み年々比率は減少してきてはいるが、未だに類似団体と比べ高い数値になっている。

本来100以上になっている必要があるが、浄化槽維持管理費と起債償還額の合計額に対し、料金収入が低いため現状数値になっている。

類似団体の2倍以上の数値であることから、浄化槽維持管理費が高いことが原因と思われる。

浄化槽の施設利用率が低い理由としては、世帯人数に対して浄化槽が大きいこと挙げられる。

休止している浄化槽がないことから水洗化率は100%である。

2. 老朽化の状況について

平成14年度整備開始で13年しか経過していないことから、浄化槽の更新事業を開始していない。

全体総括

各指数を類似団体と比較しても乖離が目立ち、今後改善に向けた取組が必要と考える。
収益については、一般会計からの繰入金に依存度が高いため、料金収入の拡大を図るとともに、より一層の収納率の向上を図る。
また、整備事業は完了しているため、浄化槽維持管理費を賄うために今後料金水準を見直し、料金単価の改定を行い適正な浄化槽使用料とするよう努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。